

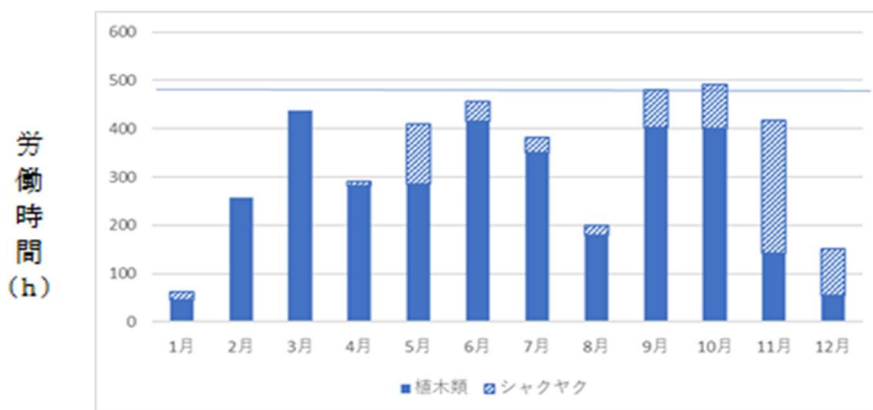
薬用シャクヤクと植木類との複合生産体系モデル

利用対象：シャクヤク栽培希望者

薬用シャクヤクの根（生薬原料）を導入した場合、苗及び切り花を販売することにより収益性を高めることが可能で、年間労働時間は773時間となり、5月と11月が繁忙期となる。

項目	合計	シャクヤク		コンテナ植木、露地植木		摘要	
粗収益	販売量(kg)		2,500		27,500	6,000	
	販売単価		300		250	150	
	販売額	8,525,000	750,000		6,875,000	900,000	
	副産物収入	120,000	苗	120,000			1000株/120円
	副産物収入	200,000	切花	200,000			2000本/100円
	助成金						
合計	8,845,000	1,070,000		7,775,000			
経営費	種苗費	0	0		0		
	肥料費	586,000	136,000		450,000		
	農薬費	212,000	35,000		177,000		
	光熱動力費	385,000	30,000		355,000		
	諸材料費	1,430,000	10,000		1,420,000		
	雇用労賃	1,783,760	281,600		1,502,160		
	その他	440,000	57,000		383,000		
	減価償却費	1,013,827	161,146		852,681		
	修繕費	218,187	36,658		181,529		
	合計	6,068,774	747,404		5,321,370		
農業所得	2,776,226	322,596		2,453,630			
所得率	31	30		32			
家族労働1時間当たり所得	1388	712		1586			
総労働時間	4,027	773		3,254			
家族労働時間	2,000	453		1,547			
雇用労働時間	2,027	320		1,707			

経営モデルでは、シャクヤク導入後5年目以降の植木類70a（アキ、オマクナンテン、ハギ、ヒトツツジ等）、シャクヤク40a（1～4年目各10a）が作付けされている1年間の経営内容を示している。



お問い合わせ先	茶業・花植木研究室 花植木研究課 小林 泰子 電話 059-370-4977
参考になる資料	薬用シャクヤク栽培マニュアル